

参加者の皆さま
保護者の皆さま

ANA紙ヒコーキ大会 in稚内空港 【小学生の部】 競技ルール

【競技種目】

*「飛行距離」の1種目のみです。

【使用する機体(紙飛行機)】

- * 大会指定の用紙・折り方とします。参加者には事前に折り方をご案内します。(10月4日以降郵送)
- * 紙飛行機の翼にカーブを付ける程度は問題ありませんが追加の折り方は認められません。
- * 競技前に審判員が飛行機を確認します。正しく折られていない場合には折り直しを
お願いする場合があります。
- * 紙飛行機の製作中に違う折り方、追加の折り方をしている方へは審判員が正しい折り方を指導します。
- * 用紙には付属品を付けないでください。
- * 製作にあたっては、参加者自身の手作りを基本としてください。
- * のり付け、テープによる接着、切り込み、切り離しはしないでください。
- * 機体には必ず名前を書いてください。

【計測方法】

- * スタートラインを超えないように手投げし、機体が着地、制止した後、機体の最後部(スタートラインに一番近い部位)と、スタートラインとの垂直距離を測定します。このとき床を滑った距離も測定距離に含めます。
- * 機体を飛ばす際は、必ず自身の手で飛ばすこととし、輪ゴムなどは使用しないでください。
- * 助走はできません。
- * 飛ばす際は4名が同時に飛ばします。
(4名が2グループに分かれ、1投目と2投目は投げる位置を入れ替えます。)
- * 計測は、1人2回おこない、飛距離の長い方を採用します。
- * 距離は、センチメートル単位まで測定します。(1cm以下は切り捨て)
- * 計測は、計測ラインよりメジャーで計測します。
- * 機体が壁や障害物に当たって落下した場合でも投げ直しはせず、落下した位置までの距離を測定します。(シャッターなどに乗った場合はその場所を着地点とします)
- * 入賞者が同飛距離だった場合は、もう一投の飛距離の長い方で判定します。
- * 基本的に投げ直しはできませんが、同時に投げた機体どうしが空中で接触した場合のみ、希望あり、かつ審判員が認めた場合のみ投げ直しをすることができます。

【その他】

- * 機体の製作時間は15分です。
- * 各部門5分間の練習時間があります。